第 VIII 欄(iv) 発明者である旨の申立て(米国を指定国とする場合)

中立ては実施制則第 214 号に規定する以下の標準文言を使用して作成しなければならない。第24欄と同欄 \oplus)~ \oplus の総論部分、及び本頁に特有の事項について第24欄 \oplus の船者を参照。この欄を使用しないときは、この用紙を願けに含めないこと。

発明者である旨の申立て (規則 4.17(iv)及び 51 の 2.1(a)(iv)) (米国を指定国とする場合)

私は、特許請求の範囲に記載され、かつ特許が求められている対象に関されていない場合)か、あるいは共同発明者である(複数の発明者が記載さ	
本申立ては、本書がその一部をなす国際出願を対象としたものである(出願時に申立てを提出する場合)。
本申立ては、国際出願 PCT/	を対象としたものである(規則 26 の 3 に従って申立てを提出する場合)。
私は、特許請求の範囲を含め、上記国際出願を検討し、かつ内容を理解 上記出願の願書において主張する優先権を特定し、かつ、「先の出願」とい 出願月、出願年を記載することで、米国以外の少なくとも一国を指定してい 前の出願日を有する、米国以外の国で出願された特許又は発明証の出願をす	いる PCT 国際出願を含め、優先権の主張に係る基礎出願の出願日よりも
先の出願:	
私は、連邦規則法典第 37 編規則 1.56(37 C.F.R. § 1.56)に定義された に下承認する。さらに、一部継続出願である場合、先の出願の日から一部 いて開示義務があることを承認する。	特許性に関し重要であると知った情報について開示義務があることを、こ 継続出願の PCT 国際出願日までの間に入手可能になった重要な情報につ
私は、表明された私自身の知識に基づく陳述が真実であり、かつ情報と信念に関する陳述が真実であると信じることをここに申し立てる。さらに、 故意に虚偽の陳述などを行った場合は、米国法典第 18 編第 1001 条に基づき、罰金、拘禁、又はその両方により処罰され、またそのような故意によ る虚偽の陳述は、本出願又はそれに対して与えられるいかなる特許についても、その有効性を危うくすることを理解した上で陳述が行われたことを、 ここに申し立てる。	
氏名: 高草木貞道	
住所: <u>太田市 群馬県 日本国</u> (都市名及び、米国の州名(該当する場合)又は国名)	
郵便のあて名: 〒373-0008 日本国群馬県太田市鶴生田町1931-10	
国籍: 日本国 Japan	
発明者の署名:	日付: 23.03.05 (国際出願の願書に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 3 に基づいて国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合)
氏名: 五十嵐優助	
住所: 伊勢崎市 群馬県 日本国	
住所: 2000年 日本	
郵便のあて名: 〒372-0046 日本国群馬県伊勢崎市三光町1	9-3
国籍: 日本国 Japan	22.02.05
発明者の署名: <u> </u>	日付: 23,03.05 (国際出願の願書に発明者の署名がない場合や、規則26の3に基づいて国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合)

この申立ての続葉として「第垭欄(iv)の続き」がある

第 VIII 欄(I)~(v)の続き 申立て

第個欄(\hat{o})~(\hat{o})の紙面が不足する場合(同欄(\hat{o})心において2人以上の発明者を記載する場合を含む)、「第個欄…(\hat{o})~(\hat{o})の番号を記載)の続き」としたうえ、当該申立てと同様に必要事項を記載する。 2以上の申立てにおいて紙面不足がある場合、それぞれに別々の欄を使用する。この追記欄を使用しないときは、この用紙を願書に含めないこと。

第呱欄(iv)の続き

氏名 根津元一

住所 邑楽郡 群馬県 日本国

郵便のあて名 〒370-0522 日本国群馬県邑楽郡大泉町富士2-12-16 大友ハイツ101号室

国籍 日本国 Japan

氏名 草部隆也

住所 邑楽郡 群馬県 日本国

郵便のあて名 〒370-0533 日本国群馬県邑楽郡大泉町仙石3-25-1

国籍 日本国 Japan

発明者の署名 Takaya Kusabe. 日付 23.03.05